

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	8	氏名	山 藤 陽 子 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	高齢者の肺炎予防の啓発とRSウイルスワクチン接種の公費補助について			<p>厚生労働省が発表した日本における「肺炎」による年間死者数は約7万人から8万人前後で推移しており、全国死因順位の第5位となっている。これに「誤嚥性肺炎」による死者数を合わせると死因順位はさらに上位になる。年代別では高齢者の割合が非常に高く、90歳以上や80歳代の死者数が大部分を占めている。仮に死につながらなかったとしても、肺炎による長期間の入院は、体力低下によるフレイルの悪化及び認知症リスクの増大を招き、特に高齢者や基礎疾患を持つ方々にとって重篤な影響を及ぼす。今後、超高齢化社会を迎えるに当たり、高齢者介護などによる生産年齢人口への負担を増やさないためにも、肺炎予防に対する対策は、より一層重要になると考える。健康寿命を延ばしていく観点から、本市の肺炎予防の対策について、以下伺う。</p> <p>(1) 本市における高齢者の肺炎による死亡の現状（令和5・6・7年度）と今後の見込みをどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 高齢者への肺炎球菌及びインフルエンザの各ワクチン接種における公費助成の内容と接種状況（令和5・6・7年度）及びRSウイルスワクチンを接種した人数を伺う。</p> <p>(3) RSウイルス感染症に高齢者が罹患した場合の症状及びRSウイルス感染症の周知と感染予防への注意喚起を行っているか伺う。</p> <p>(4) 高齢者が健康寿命を延ばし、自分らしく、老後を過ごす時間を増やすため、基礎疾患を持つ高齢者を対象にRSウイルスワクチン予防接種費用の一部助成を検討してはどうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長